

ハイフォン市カットバ島に適した太陽光発電連携によるゼロエミッション型EVバスの開発

事業実施団体：株式会社ソフトエナジーコントロールズ

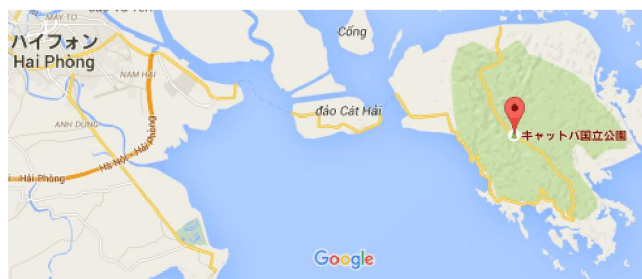
イノベーション・実証の概要

ハイフォン市カットバ島の坂道の多い地形、高温多湿の気候、観光客向けの運行条件等に適したEV路線バスの開発を行う。太陽光による発電と自社のバッテリー制御技術で蓄電コントロールされたバッテリーを交換方式で活用することによりゼロエミッション型EVバスの実証走行実験を行う。尚バス車体はアルミ合金を用いたセミモノコックフレームとし最軽量仕様とする。

バッテリー交換方式を採用することで、バスが充電時間に拘束されず、長距離走行が可能となる。ベトナム北部の気候に多い曇天にも有利なCIGS方式の太陽光発電と蓄電システムによる実運用での実証を行い、その実績を基に同地域での本技術システムの事業展開を行う。



対象とする国・地域の概要



地図データ©2015Google

ベトナム国ハイフォン市カットバ島は、ユネスコ生物圏保護区に指定される自然と生態系豊かな観光の島であり、環境配慮型交通及び再生可能エネルギーの導入を目指している。

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

STEP1: 実証車1台の導入によるカットバ島仕様EVバスの開発・実証 (2015年度、本事業)

STEP2: 現地路線バス運営会社へ、10台のEVバスおよび太陽光発電連携システムを販売 (2016年度)

普及の見込み

2017年に、ハイフォン市本土とカットハイ島を繋ぐタンブー橋が開通することにより、島内のバス需要の増加が見込まれ、ハイフォン市本土においても2030年頃までに60台程度の普及が見込まれる。